

産山村の魅力ポイント

■面積 60.80 km² ■人口 1372人(R6.10.17) ■指定地域 特定農山村・山村・過疎

○九州の中央部、山に囲まれた草原の農山村

阿蘇山、九重火山群および祖母山に囲まれ、雄大な草原が広がっている。



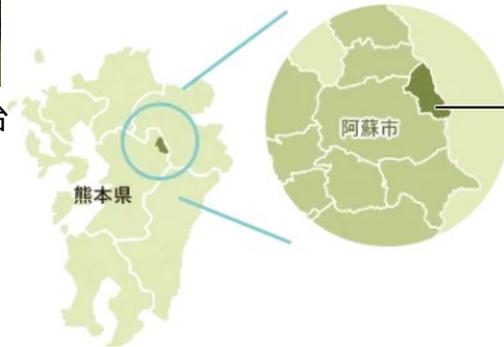
絶滅危惧種の村花ヒゴタイ



村の水道にも使われる池山水源



阿蘇、九重、祖母を望む一望三山の台



○草原と湧水を生かした産業が盛ん

草原に放牧して育てた「あか牛」をはじめ畜産業が盛ん。

扇状に広がる土地を開墾し、山吹水源から引いた水で育てる「扇田」をはじめとする稲作や、観光牧場、温泉などの観光資源も。



あか牛とヤマメ・ニジマス



湧水で育てる扇田



リニューアルしたばかりの観光牧場

産山村の課題

■ 政策分野 公共施設

○ 公民館等の遊休施設の活用

（現状）

- ・体育館や宿泊設備等を備えた公民館があるが、築年数が経っており、最新の耐震基準を満たしていない。
 - ・活用の方法が定まっておらず、改修が後手に回っている。
- 地域のコミュニティ維持に活用するとともに、村の近くを通る中九州横断道路が近日開通予定であることから、村外からの利用者も呼び込みたい。

（対応すべきこと）

- ・公民館等遊休施設をどのようなコンセプトで使用していくか検討。
- コンセプトを基に、耐震設計や予算規模を決定していく必要がある。



応援隊の活動報告

○ 情報提供

- ・公共施設の改修について、各地の自治体の事例を紹介するとともに、活用できそうな制度・補助金について情報提供。

○ 遊休施設の活用コンセプト策定

- ・ターゲットの選定、用途の絞り込み等についてヒアリング。山村留学の宿舎やコワーキングスペース設置を想定、等...

>> 今後の方針

- ・来年度作成される公共施設の総合管理計画に、公民館の活用方針を盛り込みたい。
- 引き続きコンセプト策定を支援（事例の情報提供等）。